

高麗郡建郡1300年記念事業

第2回

1300年歴史シンポジウム
高麗郡建郡



軒丸瓦・軒平瓦
(日高市「女影魔寺」)



鳥形硯
(日高市「王神遺跡」)

建郡前後の高麗郡と周辺地域を考える
～建郡の謎を解明する!～

2014年

12月6日 土

入場無料

定員 600名

申込み不要 直接、会場へお越しください。

13:00～17:00 開場 / 受付 | 12:30 より

会場 | 日高市文化体育館 ひだかアリーナ

第1部

13:00～13:30 開会式

13:30～15:30 講演発表 (講師4名×30分)

◆ 高麗郡建郡記事の謎 **初心者向けに概要と謎を簡潔に説明します**

講師 赤木隆幸 (高麗浪漫学会理事)

◆ 高麗郡の中心地はどこなのか? ～郡役所跡の推測～ **郡役所のモデル比較**

講師 中平 薫 (日高市教育委員会)

◆ 入間郡からみた高麗建郡～その建郡前夜～ **坂戸周辺の考古的な成果**

講師 加藤恭朗 (坂戸市教育委員会)

◆ 集落からみた高麗建郡～渡来人による開発～ **飯能周辺の考古的な成果**

講師 富元久美子 (飯能市教育委員会)

15:30～15:50 休憩

第2部

15:50～16:50 パネルディスカッション

司会 中野高行 **パネリスト** 赤木隆幸 / 中平薫 / 加藤恭朗 / 富元久美子

16:50～17:00 閉会式

当日参加者に

限定

古代高麗郡の
歴史ロマン・マップ

プレゼント!

高麗郡建郡の 歴史的な魅力と謎？

紀元前37年頃から668年まで、中国北東部から朝鮮半島にかけて「高句麗(こうくり)」という強大な国家が700年間近く栄えていました。長い時間をかけて多くの高句麗人が渡来人として「倭(わ)」の国(当時の日本)へ渡り、日本国の政治・産業・文化の向上に影響を与えました。日本では高句麗人のことを高麗人(こまひと)と呼びました。

そのような時代、1300年前の霊亀2年(西暦716年)5月16日、駿河・甲斐・相模・上総・下総・常陸・下野の7国にすでに移住していた高麗人1799人を、武蔵国へ集めて高麗郡が建郡されました(『続日本紀』)。その建郡時の中心的人物が、高麗人の長であった「高麗王若光(こまのこきしじゃっこう)」と言われています。

この建郡のことを考えると、多くの謎が浮かんできます。「なぜ、武蔵国のこの地に(入間郡に隣接する地を選び)置かれたのか?」「高麗人を受け入れる下地がすでに何か存在していたのか?」「1799人が開拓に入る前にすでに先駆けとなる前進的な集落地があったのでは?」「高麗郡の郡役所跡の位置は確定できるのか?」「建郡のその後の発展は、どのように行われたのか?」などの謎です。



今回の歴史シンポジウムでは、考古学的視点から、その成果を踏まえた建郡の実態と謎に迫りたいと考えています。

参加者に**限定**「古代高麗郡の歴史ロマン・マップ」をプレゼント!

古代高麗郡関係の遺跡・遺物等の位置がわかる広域的な歴史ロマン・マップを当日参加者にプレゼントします。ぜひ、古代高麗郡の理解を助ける学習資料としてください。



会場までの交通案内



日高市文化体育館 ひだかアリーナ

〒350-1206 埼玉県日高市大字南平沢 1010 電話 042-985-2090

- 徒歩** JR 高麗川駅より約20分(タクシーで約5分)
- 車** 県道川越日高線の日高郵便局の交差点より約3分

駐車場.....
日高市文化体育館または日高市役所の **P** へ
(注) 駐車場は限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

会場への送迎シャトルバス

無料

(注) 時刻については若干の変更がある場合もございます。



JR 高麗川駅	約10分	ひだかアリーナ会場へ	
時刻	12:00 発	12:30 発	13:00 発

ひだかアリーナ会場	約10分	JR 高麗川駅へ	
時刻	16:00 発	17:00 発	17:30 発